

京都大学大学院経済学研究科カリキュラム

博士課程 5年一貫の教育研究を通して、経済・経営における諸活動を科学的に分析し、財政、産業、雇用、経営、金融、エネルギー、環境、医療など、現在の世界が抱える諸問題に対して、本質的な解決策を提示しうる研究者を養成する

博士（経済学）

合格

課程博士請求論文作成→提出→学位論文公開審査会

ワークショップ：研究発表、高度な討論と切磋琢磨の場を提供

論文指導：院生ごとに複数の教員による指導委員会を構成，個別指導を行う→学修認定

博士学位の取得を目指す人に研究の場と指導を提供し，経済学の先端的課題や経済社会の諸問題に果敢に挑戦し，社会の期待に応えられる研究者を養成する

進学 or 編入学

修士（経済学）

合格

修士論文作成→提出→口頭試問

22 単位以上

基礎科目・6 単位以上

専門科目・10 単位以上

- ・近代経済学コース
- ・近代経済学応用コース
- ・社会経済学コース
- ・経済政策コース
- ・経営学・会計学コース
- ・歴史・思想史コース

特別講義

特別研究・8 単位
(修士論文指導)

合計 30 単位以上

授業および修士論文作成を中心にした個人指導により，経済学と関連領域の蓄積を継承させ，研究に必須の基礎学力および分析能力を身に付ける

入学（東アジアコースについては別紙参照）

学部教育と大学院教育の連関：学部で開講される特殊講義の大半は大学院共通科目

博士後期課程（3年）

修士課程（2年）

International Graduate Programme for East Asia Sustainable Economic Development Studies

Practical economists / social entrepreneurs / international civil servants contributing to the international sustainable development

Academic researchers with international standard of competence

Career Path Image

